

「時の記念日」（6 月 10 日）

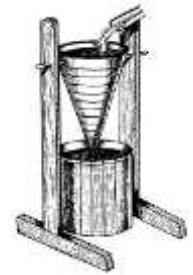


大正 9 年、東京天文台（現在：国立天文台）と財生活改善同盟会により、時間を大切にする意識を広めるために、6 月 10 日は「時の記念日」として制定されました。

その由来は、今から千年以上前に遡（さかのぼ）ります。『日本書紀』の中に、近江神宮の祭神である天智天皇が「漏刻（水時計）」を設置して鐘鼓を鳴らして時を告げた」という記述があります。この日は旧暦

の 4 月 25 日で、現在の太陽暦では 6 月 10 日にあたります。滋賀県大津市の近江神宮の境内には、日本再世の時計である「漏刻」があり、毎年この日に「漏刻祭」が開催されます。

日本人の国民性として、「時間を厳しく守ること」がよく挙げられます。例えば、鉄道などの定時運行は世界一正確だと言われていますが、そう言った原点の一つに、遡ること千数百年前の時刻制度があったと言えるでしょう。「時の記念日」に、悠久の歴史に思いを馳せてみましょう。



身近な人の嫌いな口癖 「はッ？」「お金ない」「別に」



口癖は、普段言い馴れて無意識のうちに使ってしまう言葉です。NTT ドコモが主催する「みんなの声」が集計した「2 万人が選んだ『身近な人の嫌いな口癖』」では、3 位「別に」、2 位「お金がない」、1 位「はッ？」でした。その他に、4 位は「ウケる～」、5 位「でも～」、6 位「ムカつく」などです。このランキングの中で、群を抜いているのが 1 位の「はッ？」で、2 位の倍以上得票数となっていました。

嫌われる口癖は、すべてではないものの、ある傾向が見られます。それは、相手を否定したり、無視したりする言葉です。前記のランキングでは、1 位と 3 位、5 位、6 位の言葉でしょう。自分でも気付かないうちに、使っていないかどうかを省みてみたいものです。

逆に、相手に好印象を与えるには、相手を肯定する言葉を使うことです。例えば、「いいね」「ステキ」「そうだね」を多用すると人間関係も好転します。

日頃使う言葉に意識を向け、工夫をして良い人間関係を築きたいものです。

